

### ■授業の目的

教育課程がもつ社会的役割と機能及び意義について、学習指導要領に示された内容に則して理解する。また、教育課程編成の原理と方法（カリキュラム・マネジメントを含む）や学校・地域の実情に即した指導計画について理論と実践の両面から理解する。

### ■授業の到達目標

- ①教育課程の社会的役割や機能及び国家基準である学習指導要領の性格と各改訂の社会的背景を理解している。
- ②教育課程編成の原理と方法、学校や地域の実情に即した指導計画の重要性を理解している。

### ■授業計画

- 1 教育課程／カリキュラムとは何か  
授業の進め方、評価方法等について年間を見通した計画を説明する。また、「教育課程」と「カリキュラム」の差異、学校現場における教育課程の重要性についてを解説する。
- 2 近代日本の教育課程の歩み  
教育課程の国家基準としての位置づけ、創意工夫を促す大綱基準としての性格を理解するとともに、明治・大正・昭和にかけての教育課程の変遷について理解する。
- 3 現代日本の教育課程の歩み(1)  
1947年から2008年までの7次に亘る学習指導要領の改訂と、その編成原理について理解する。
- 4 現代日本の教育課程の歩み(2)  
1970年代の高度経済成長期から2003年の学習指導要領改訂までの編成原理について理解する。
- 5 現代日本の教育課程の歩み(3)  
授業時数の増加を図った2008年の改訂から、能動的学習への転換を図ろうとする2017年改訂の学習指導要領の背景・要点・内容について理解する。
- 6 教育課程開発の新しい動き  
「生活科」「総合的な学習の時間」「小学校英語」等に関わる新しい教育課程開発の工夫と流れについて理解する。
- 7 教育課程の思想と構造  
デュイに代表される経験カリキュラムとブルームによる教科カリキュラムについて理解する。
- 8 教育課程編成の原理と方法・評価  
教育課程編成に関わるタイラー原理、ブルームによるマスタリー・ラーニング論、スコープとシークエンス等について理解する。指導要録の性格と位置づけ、学力評価の類型（認定評価・相対評価・到達度評価・目標に準拠した評価・個人内評価等）を理解する。
- 9 カリキュラム・マネジメント  
教育課程編成に関わるカリキュラム・マネジメントの考え方と手法について理解する。
- 10 社会における教育課程(1)  
カリキュラムの中立性確保の問題行動、イリッチによる脱学校論、フレイレの提唱する銀行型教育について理解する。
- 11 教育課程編成の原理と方法(2)  
リテラシー論争、隠れたカリキュラムについての理解を通して、教育課程と社会との関わりについて理解する。
- 12 教育課程における今日的課題(1)  
「生きる力」を目指したテーマや市民性の育成に関わる教育課程について理解する。
- 13 教育課程における今日的課題(2)  
環境教育、メディアリテラシーに関わる教育活動を通して、現代社会の課題と教育課程編成について理解する。
- 14 諸外国における教育課程  
諸外国の教育制度や教育課程編成等の特徴について日本との比較を通して、日本の教育制度の特徴や課題について考察する。
- 15 授業のまとめと試験  
これまでの講義のポイントを整理し、定期試験を実施する。試験後、事後解説を総合的に行う。

### ■授業の方法

授業は基本的には講義形式で行う。講義の課程で、その時限で扱っている内容に関連した質問やグループワーク等を行うので、常に課題意識をもって授業に臨むことが大切である。

### ■予習・復習

〈予習〉次回の授業内容を教科書等にて一読し、不明な用語は調べておく。  
〈復習〉授業内容をもとにした課題・レポートの提出を求める。

### ■成績評価の方法

定期試験60%、課題やレポートの作成、授業への取組（グループワークへの取組を含む）40%とし、総合的に評価する。

### ■教科書・参考書

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』文部科学省  
『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説総則編』文部科学省  
『新しい時代の教育課程』4訂版 田中耕治他編 有斐閣アルマ 2018年